

計画地のコンセプトについて

1. 各種統計データの整理

1-1. 人口推移（市全域）

(1) 市全域の人口推移と高齢化率

- ◇ 国勢調査によると、2015年の人口は92,670人であり、高齢化率は20.4%である。なお、市の高齢化率は、県内54市町村中2番目に低い。
- ◇ 住民基本台帳によると、2019年9月末時点の人口は103,037人である。
- ◇ 高齢化率は、2015年から2045年までの間に14.1ポイント増加し、2045年は総人口の1/3以上を65歳以上が占めることが予測されている。
- ◇ 総人口は、2035年をピークに減少に転じると予測されている。

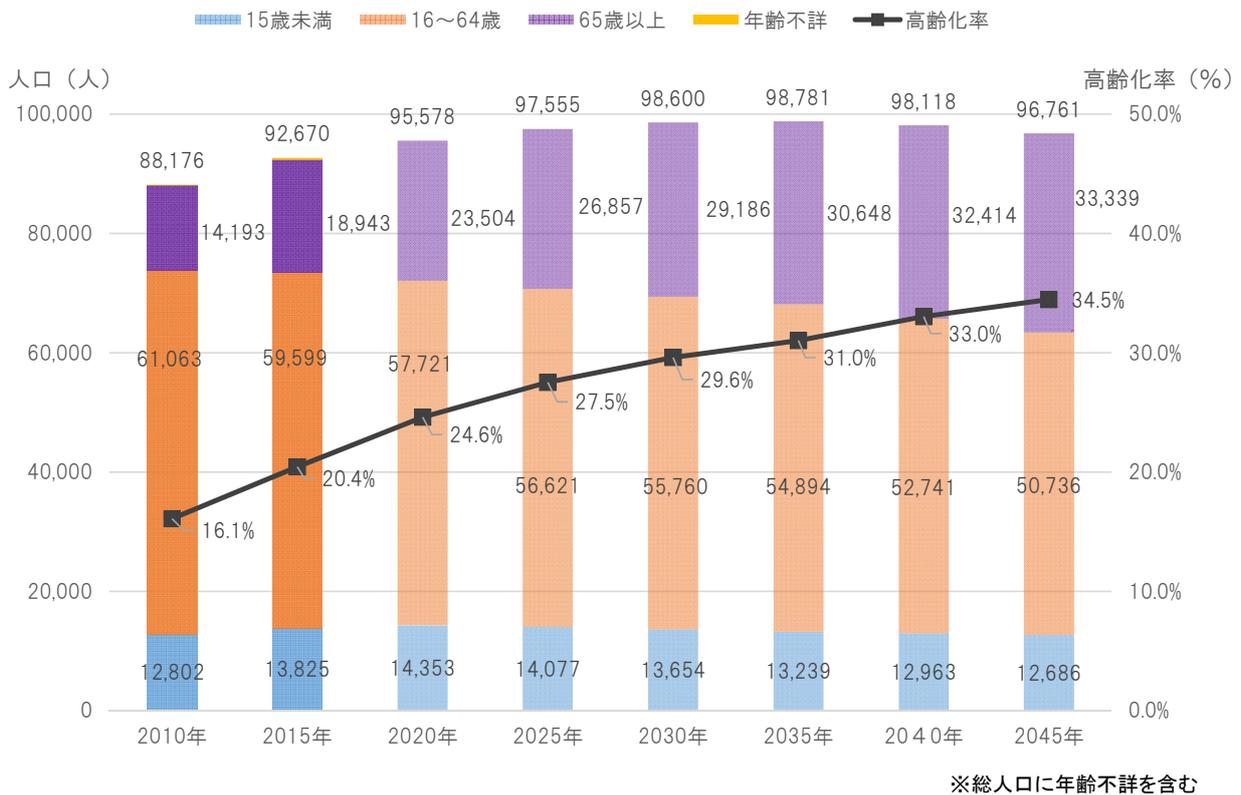


図-1.1 印西市全域の人口推移と高齢化率

【出典】 2010、2015年：国勢調査（総務省統計局）

2020年以降の予測：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

(2) 印西市と千葉県の人口推移

- ◇ 千葉県の人口が減少すると予測されるのに対し、印西市の人口は、2035年頃をピークに減少するものの、2045年時点で2015年の人口+4.4%を維持していると予測される。

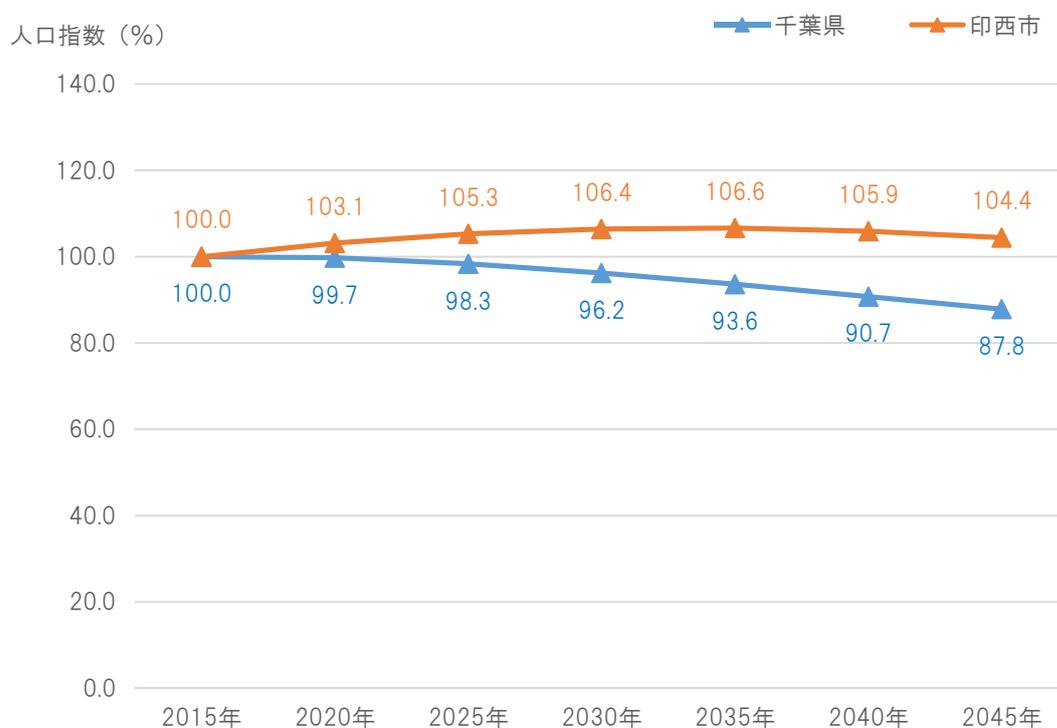


図-1.2 印西市と千葉県の人口推移

【出典】 2015年：国勢調査（総務省統計局）

2020年以降の予測：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

1-2. 人口推移（地区別）

- ◇ 当該施設が計画されている「中央駅地区」の人口が最も多い。
- ◇ 特に「中央駅地区」と「牧の原地区」の人口は、他地区に比べ増加幅が大きい。

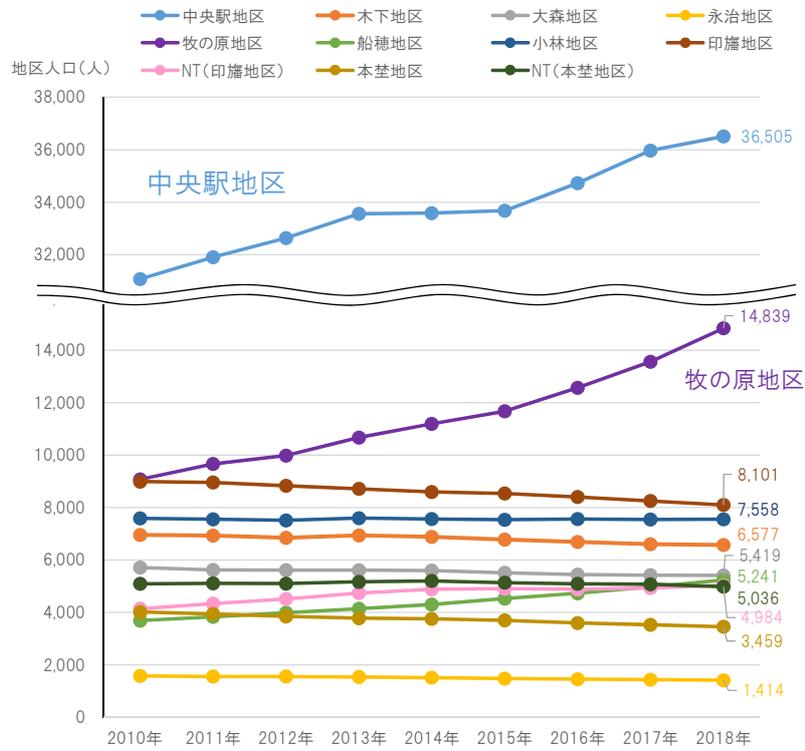


図-1.3 各地区の人口推移（2010～2018年）

【出典】印西市統計書データいんざい2018（印西市）

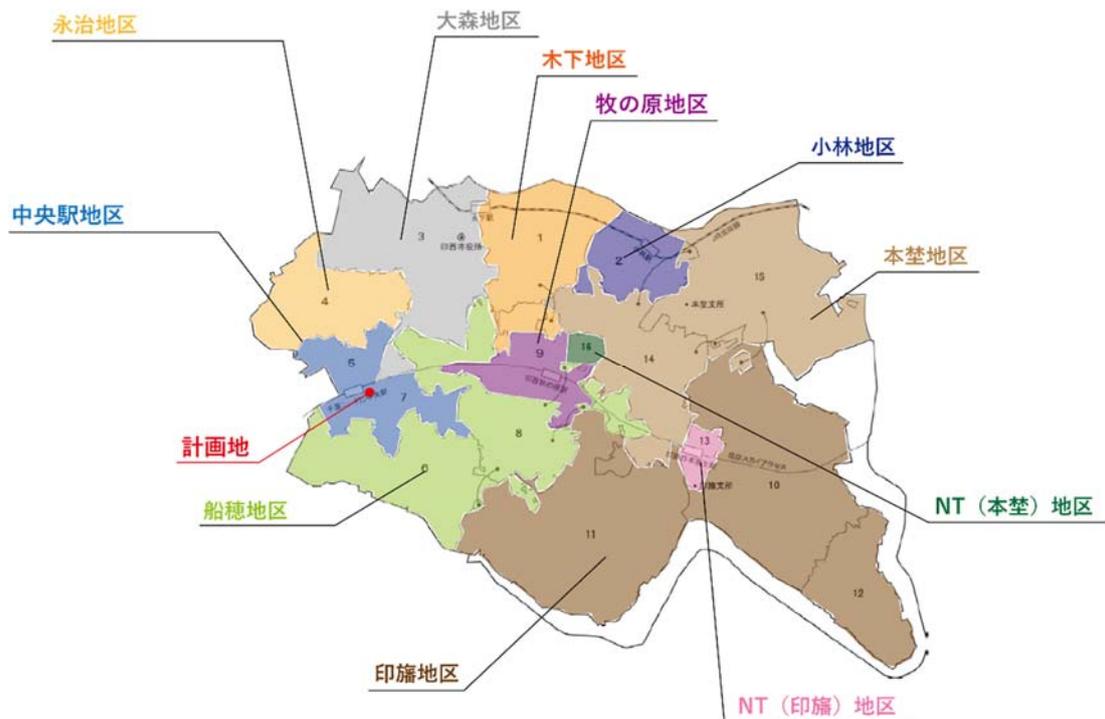


図-1.4 地区分図

1-3. 昼夜間人口比率

- ◇ 印西市の昼夜間人口比率は 100%未満であることから、他県や他市町村へ就業・就学している市民が多いことが想定される。

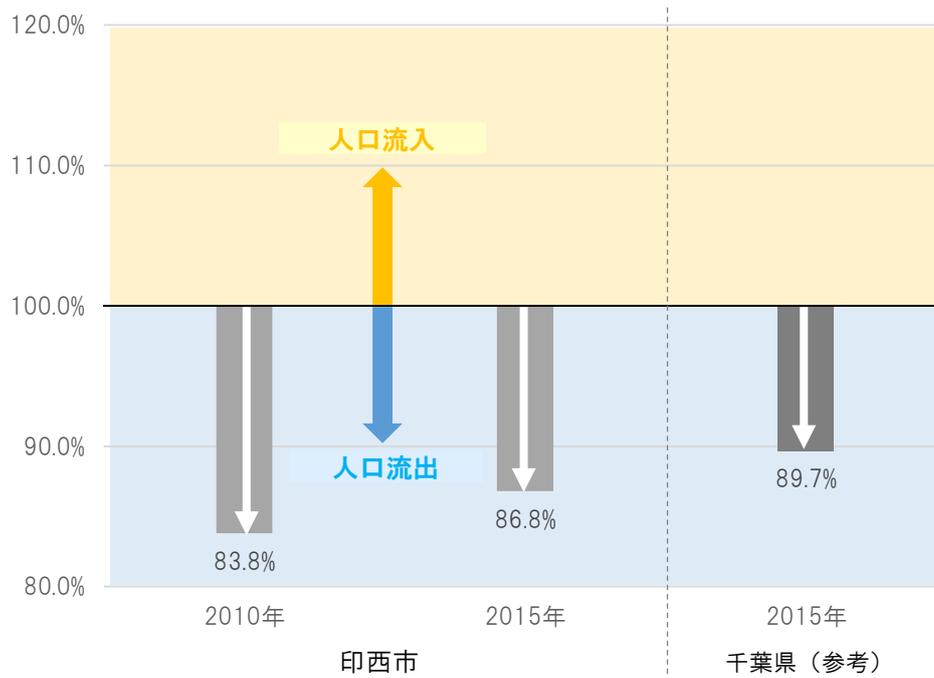


図-1.5 昼夜間人口比率（印西市・千葉県）

【出典】

印西市統計書データいんざい 2018（印西市）

平成 27 年国勢調査（総務省統計局）

1-4. 交通機関の利用

(1) 鉄道利用者数の推移（千葉ニュータウン中央駅）

- ◇ 千葉ニュータウン中央駅の1日当たりの乗車人員は、15,000人前後で推移している。
- ◇ 最も乗車人員が多かった2012年と比較して、2017年は-11.8%（約2,000人の減少）となっている。

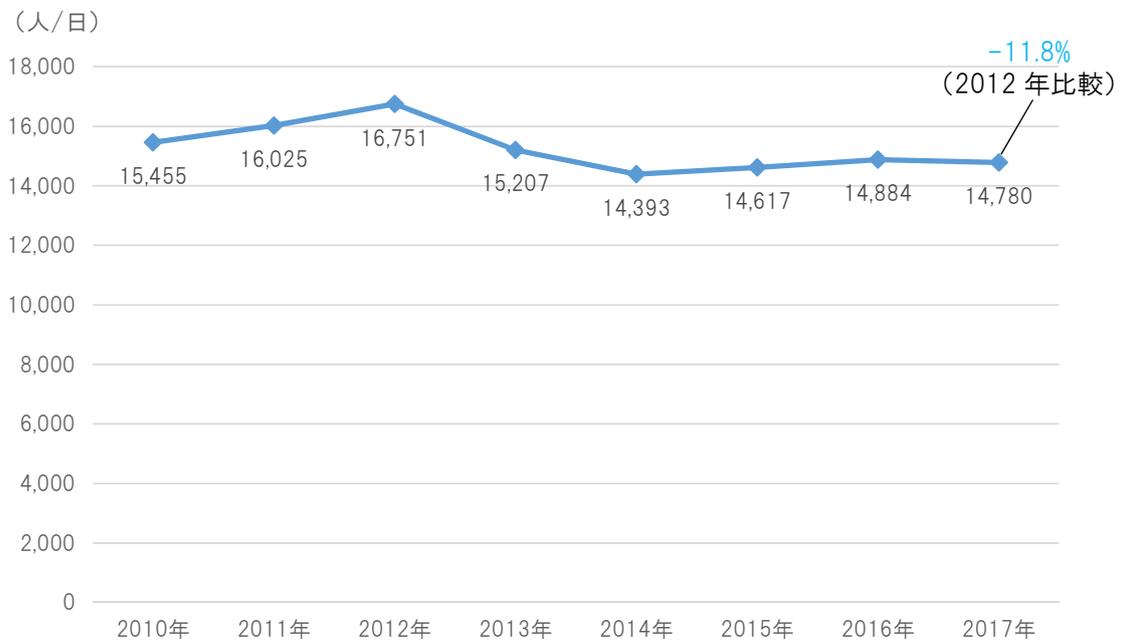


図-1.6 千葉ニュータウン中央駅の1日当たりの乗車人員

【出典】印西市統計書データいんざい2018（印西市）

(2) ふれあいバス利用者数の推移（千葉ニュータウン中央駅を經由する3ルート）

- ◇ 千葉ニュータウン中央駅を經由する3ルートの中で、西ルート（永治・木刈循環ルート）の年間乗車人数が最も多い。
- ◇ 西ルートは2016年、南ルート（千葉ニュータウン循環ルート）は2015年をピークに年間乗車人数が減少に転じている。
- ◇ 布佐ルート（市役所と千葉ニュータウン中央駅北口の往復ルート）は年間乗車人数が増加しており、2017年は南ルートの年間乗車人数を上回っている。

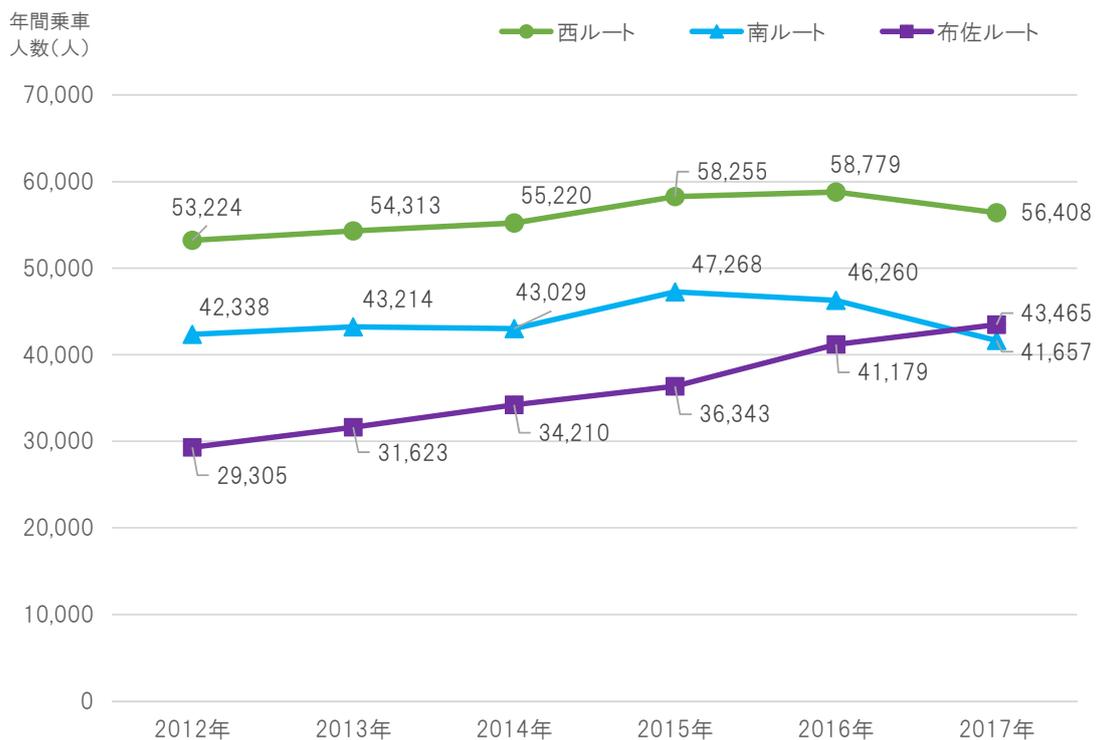


図-1.7 ふれあいバスの年間乗車人数

【出典】印西市統計書データいんざい2018（印西市）

1-5. 産業

◇ 印西市の年間商品販売額、事務所数、従業員数、売り場面積は、いずれも増加傾向にある。

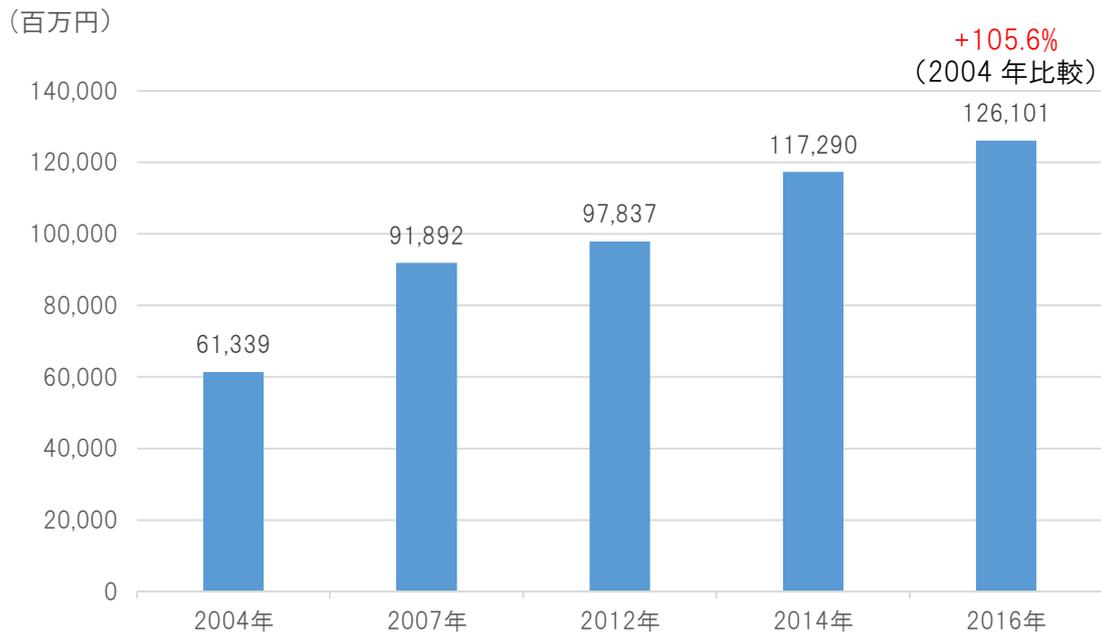


図-1.8 年間商品販売額の推移

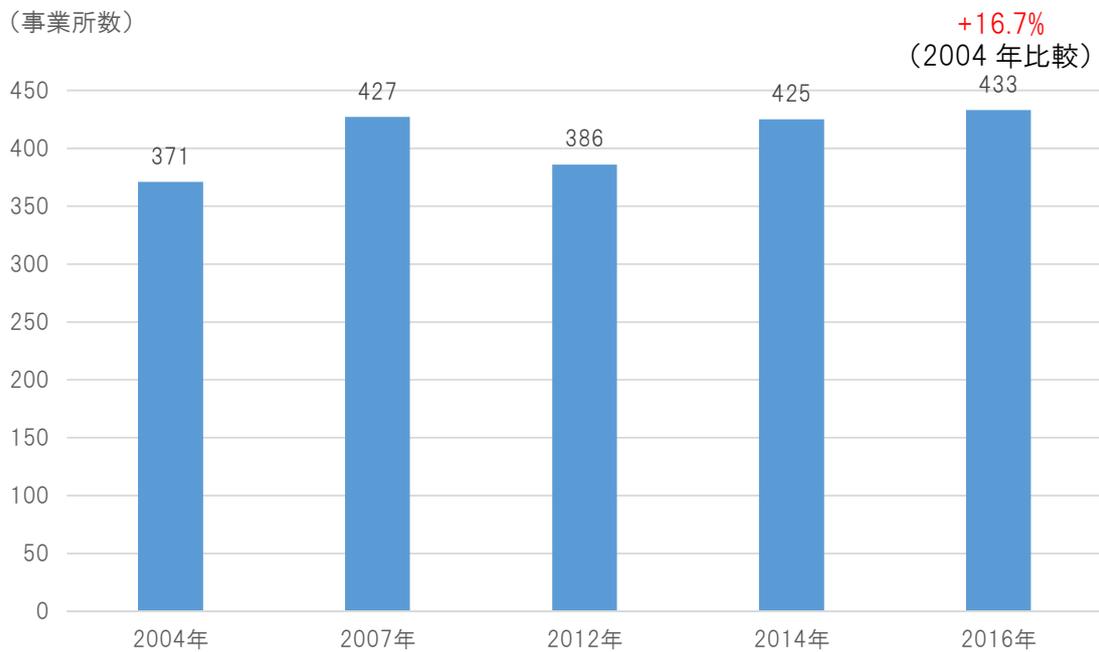


図-1.9 事業所数の推移

【出典】商業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省統計局）

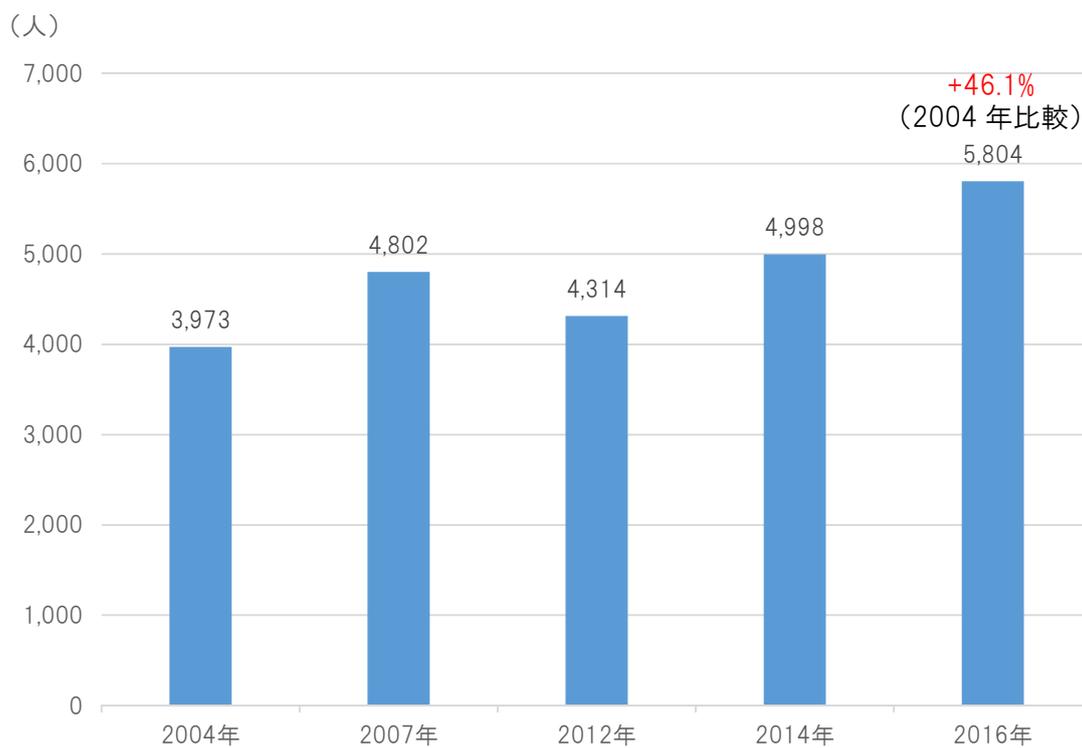


図-1.10 従業員数の推移

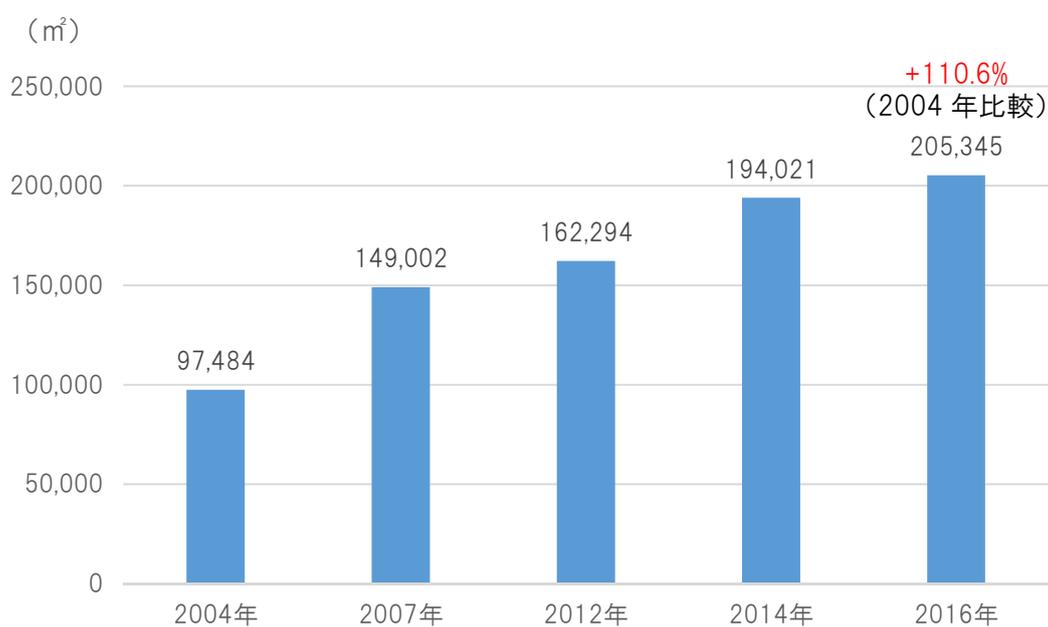


図-1.11 販売面積の推移

【出典】商業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省統計局）

1-6. 観光

◇ 印西市の観光入込客数（延べ人数）は、年間100万人前後で推移している。

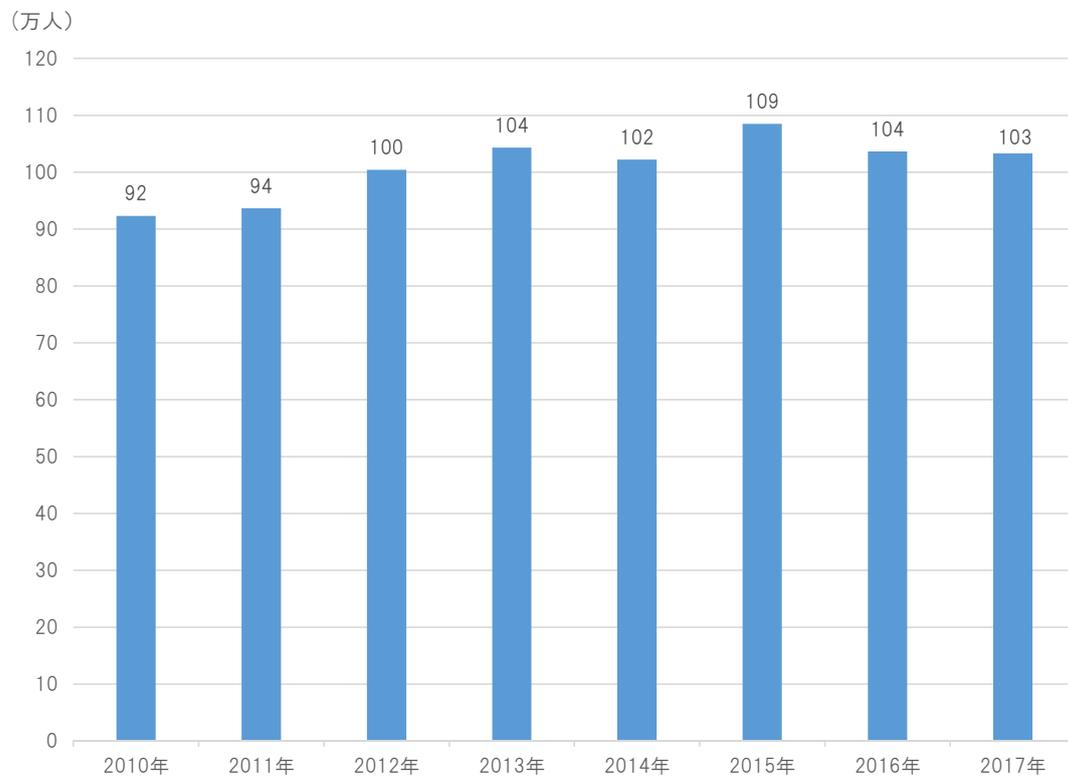


図-1.12 印西市の観光入込客数（延べ人数）の推移

【出典】千葉県観光入込客調査報告書（千葉県）

2. 印西市市民満足度・重要度調査における結果の整理

2-1. 調査の目的

施策全般について市民の意向（ニーズ）を把握し、今後の計画の進行管理や見直しなど市政運営の基礎資料に資することを目的に実施したものである。

2-2. 調査方法

- (1) 調査対象 : 印西市に在住する満 18 歳以上の男女
- (2) 対象者数 : 3,000 人
- (3) 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為に抽出
- (4) 調査方法 : 郵送配付、郵送回収
- (5) 調査期限 : 平成 29 年 8 月 25 日～9 月 19 日

ここでは、計画地のある印西地域の調査結果について整理する。



地域名	地区名	No.	字名
印西地域	木下地区	1	木下、木下南、竹袋、別所、宗南、木下東、平岡、平岡官堤
	小林地区	2	小林、小林北、小林浅間、小林大門下、小林官堤、小林官堤腹
	大森地区	3	大森、鹿黒、鹿黒南、亀成、発作、相嶋、浅間前、大森官堤
	永治地区	4	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
	中央駅地区	5	小倉台、大塚、牧の木戸、木刈、中央北
	船穂地区	6	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台、結縁寺、多田羅田、十余市、谷田
	中央駅地区	7	内野、原山、高花、戸神台、中央南、武西学園台
	船穂地区	8	草深、泉、泉野
	牧の原地区	9	西の原、原、東の原、牧の原、牧の台
印旛地域	印旛地区	10	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫
	印旛地区	11	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田、つくりや台
	印旛地区	12	平賀、平賀学園台
	NT (印旛) 地区	13	美瀬、若萩、舞姫
本埜地域	本埜地区	14	中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木、みどり台、惣深新田飛地
	本埜地区	15	笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、将監、本埜小林、立埜原
	NT (本埜) 地区	16	滝野

図-2.1 地区分図

2-3. 印西市のまちづくりについての調査結果

印西市の主な取組施策である 32 項目について満足度と重要度を調査した結果を、平均値を境とする 4 つの領域に分類しプロットした図、要望の多さと評価の高さについての相関図で示す。

表-2.1 施策一覧

(1) 自然環境の保全・活用
(2) 公園・緑地の整備・保全
(3) 環境負荷の低減・環境美化の推進
(4) ごみ減量・リサイクルの推進
(5) 防災体制・災害対策の強化
(6) 防犯・交通安全対策の強化
(7) 地域福祉の充実・社会保障制度の普及啓発
(8) 児童福祉・子育て支援体制の充実
(9) 高齢者福祉の充実
(10) 障がい者福祉の充実
(11) 健康増進・医療体制の強化
(12) 農業振興
(13) 商工業振興・企業誘致
(14) 雇用対策の推進
(15) 観光振興
(16) 学校教育の充実
(17) 生涯学習の推進
(18) スポーツの振興
(19) 文化・芸術の保護・振興
(20) 国際交流・異文化理解の推進
(21) 土地の有効利用・都市機能の強化
(22) 道路網の整備・充実
(23) 公共交通の充実
(24) 上下水道の整備
(25) 都市景観づくり
(26) 住宅施策の推進
(27) 市政への市民参加
(28) 市政情報の公開・提供
(29) 地域コミュニティ活動の推進
(30) 市民活動支援・パートナーシップづくり
(31) 市民サービスの充実
(32) 効率的・効果的な財政運営

(1) 満足度と重要度について（印西地域における調査結果）

- ◇ 「公共交通の充実」及び「高齢者福祉の充実」は「Aゾーン（満足度：低、重要度：高）」に位置しており、他の施策に比べ、ニーズが高いことが想定される。
- ◇ 「健康増進・医療体制の強化」「児童福祉・子育て支援体制の充実」は、「Bゾーン（満足度：高、重要度：高）」に位置している。
- ◇ 「文化・芸術の保護・振興」は、「Dゾーン（満足度：高、重要度：低）」に位置しており、他の施策に比べ、ニーズが低いことが想定される。

（印西地域の結果）

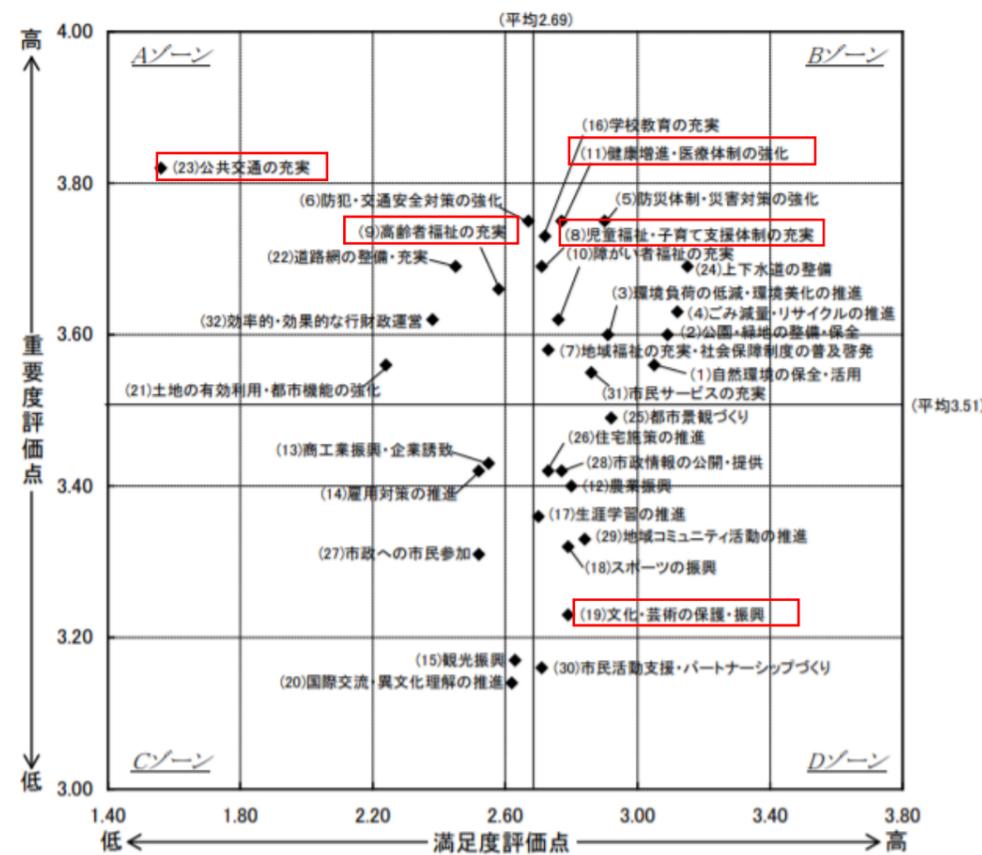


図-2.2 満足度と重要度（印西地域）

(1) のゾーン分けについて

- A：満足度が低く、重要度が高い項目
- B：満足度が高く、重要度も高い項目
- C：満足度が低く、重要度も低い項目
- D：満足度が高く、重要度が低い項目

(2) 「ここ数年でよくなったと感じる施策」と「今後特に力を入れてほしいと考える施策」（印西地域における調査結果）

- ◇ 「公共交通の充実」「高齢者福祉の充実」「健康増進・医療体制の強化」「児童福祉・子育て支援体制の充実」は、「今後特に力を入れてほしいと考える施策」の上位に位置している。
- ◇ 「文化・芸術の保護・振興」は、「ここ数年でよくなったと感じる施策」において評価は低い、「今後特に力を入れてほしいと考える施策」においても、要望が低い。

（印西地域の結果）

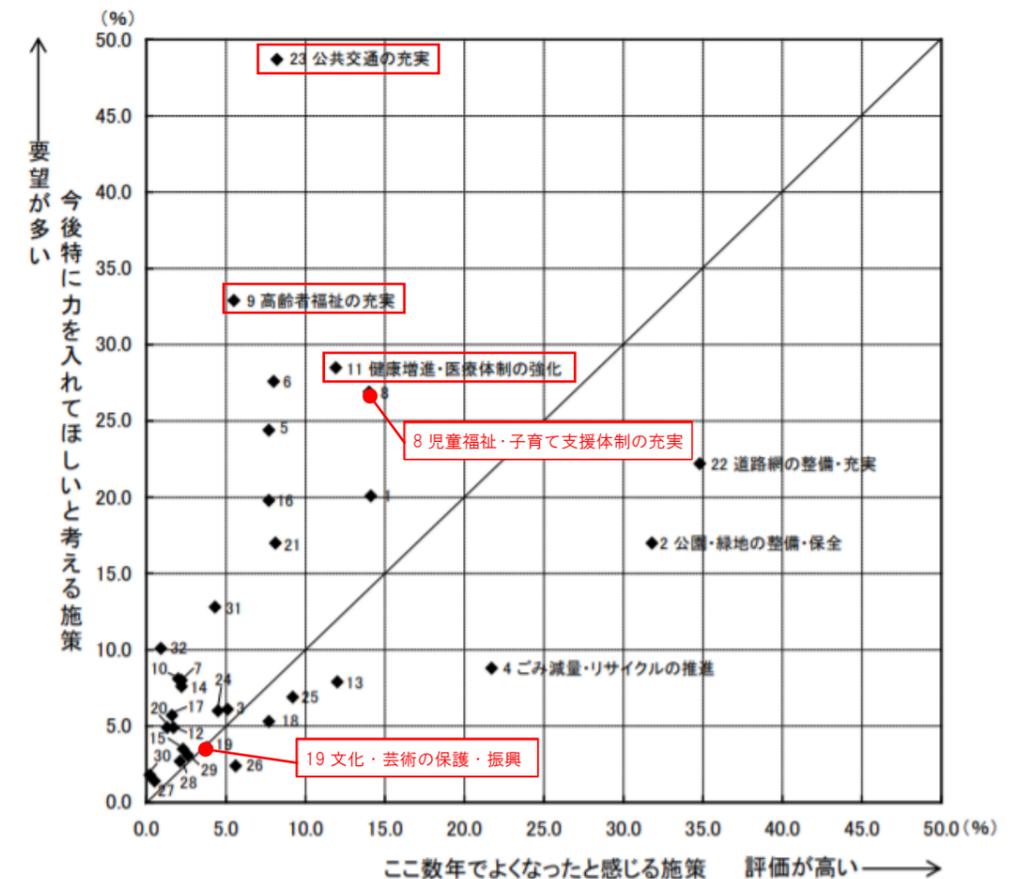


図-2.3 「今後特に力を入れてほしいと考える施策」と「ここ数年でよくなったと感じる施策」（印西地域）

【出典】平成 29 年度 印西市市民満足度・重要度調査（印西市）

3. 上位関連計画の整理

印西市の上位関連計画について、当該施設のコンセプトに関連する内容を分野ごとに整理した。

表 3.1 上位関連計画一覧

分類	上位関連計画	策定(改訂)年月	概要
総合計画 総合戦略	印西市総合計画 第1次基本計画 [平成24～27年度] 第2次基本計画 [平成28～32年度]	平成24年3月 平成28年3月	将来都市像として「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」を掲げている。また、重点施策として、重点施策1:「新しい成長」の視点、重点施策2:将来につなぐ「持続可能」の視点、重点施策3:地域のイメージを転換する「ブランド向上」の視点を設定している。
	印西市まち・ひと・しごと創生総合戦略 [平成27～31年度]	平成28年3月	将来展望として、2060年時点で8万人程度の人口実現を目標としている。総合戦略における基本的な視点として、①安定した雇用を創出する、②新しいひとの流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④時代に合った地域をつくり、安心できる暮らしを守るを設定している。
都市計画・まちづくり 関連	印西市都市マスタープラン改訂版	平成25年3月	計画地が位置する千葉ニュータウン中央地区の地域別構想は、「多様な機能と暮らしが調和した、幾世代にわたって住み続けることのできるまち」としている。計画地は、「駅圏・都市交流拠点」に位置付けられている。
	印西都市計画地区計画 タウンセンター地区 地区計画	平成30年10月	計画地は、千葉ニュータウン中央駅圏の中心的地区として、にぎわいや国際色のある多様性の高い市街地の形成を目指すこととしている。
	印西市景観計画	平成30年3月	計画地が位置する千葉ニュータウン中央地区では、計画的に整備された都市空間を保全し、市の発展をリードする北総地域の玄関口にふさわしい都市景観の形成等を目指すこととしている。
公共施設 関連	印西市公共施設等総合管理計画	平成29年3月	公共施設保有量(延床面積)を今後34年間で34%減らす必要があるとし、施設再編や空きスペース活用、民間技術の活用等に取り組むこととしている。
	印西市公共施設適正配置実施方針	平成31年2月	より効果的・効率的に市民サービスを提供することを目的に、指定管理者制度等の民間事業者等による市民サービスの提供を図ることとしている。
福祉関連	第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 [2018年度～2020年度]	平成30年3月	基本理念を「いきいきあんしん生涯現役のまち印西」とし、地域包括ケアシステムの充実、高齢者や家族が活躍できるまちづくり、介護サービスの充実を基本目標としている。
	印西市子ども・子育て支援事業計画 [平成27～31年度]	平成27年3月	理念である「安心して子育てができる環境づくりを推進する」を図るため、「地域子ども・子育て支援事業」として13の事業が位置付けられている。
	第3次印西市地域福祉計画 [平成29～32年度]	平成29年3月	理念を「声をかけあい つながりあい 思いやり 支え合う 印西市」とし、地域での支え合い意識を育み、地域活動に参加しやすい仕組みづくりや、分かり易く安心して利用できる相談窓口・福祉サービスの基盤づくり、環境整備等を施策として展開することとしている。
	印西市健康増進・食育推進計画 [2019年度～2023年度]	平成31年3月	基本理念を「めざす健康 大切に作る食 みんないきいき すこやか笑顔」とし、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に焦点を当てた施策を進めている。
教育・文化 芸術関係	印西市教育振興基本計画 [2018～2021年度版]	平成29年12月	基本理念を「だれもが輝き ともにはばたくいんざいの学び」とし、基本目標に「生涯を通して学び、スポーツに楽しめる環境づくりの推進する」と「心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る」を掲げている。

3-1. 総合計画・総合戦略

表-3.2 上位関連計画（総合計画・総合戦略）の整理

計画名(策定(改訂)年月)	概要・本事業及び計画地に係る事項等
<p>印西市総合計画</p> <p>第1次基本計画 [平成24～27年度] (平成24年3月策定)</p> <p>第2次基本計画 [平成28～32年度] (平成28年3月策定)</p>	<p>将来都市像: ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい</p> <p>【基本構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 健康福祉の政策として、以下を掲げる。 <ol style="list-style-type: none"> ① <u>思いやり支え合う地域の福祉活動を推進する</u> ② <u>安心して子育てができる環境づくりを推進する</u> ③ <u>高齢者や障がい者にやさしい環境づくりを推進する</u> ④ <u>誰もが健康で元気に暮らせる環境づくりを推進する</u>  <p>図-3.1 土地利用基本構想図</p> <p>【第1次基本計画における計画地の位置付け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 千葉ニュータウン中央エリアの特性 → <u>千葉ニュータウン全体の中核機能を持つエリア</u> ◆ 将来の都市構造の方向として、2つの都市軸と5つの駅圏を核としたまちづくりを推進している。千葉ニュータウン中央駅圏は<u>中央部都市軸</u>に設定され、その特性を活かしたまちづくりを進めていく。

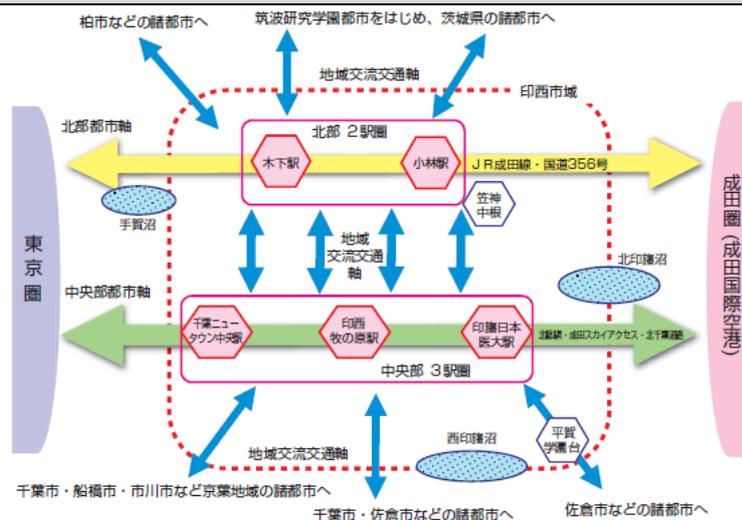


図-3.2 印西市の将来都市構造

- ◆ 千葉ニュータウン区域は市街地ゾーンに該当し、豊かな自然環境と高水準の住環境をあわせ持ったまちとして整備が進められ、今後も北千葉道路の整備等により、さらなる発展が期待されている。

【第2次基本計画】

- ◆ 第1次基本計画策定以降の社会動向の変化を踏まえ、第2次基本計画の重点施策を策定
 - ① 地方創生の取り組み・オリンピック開催など今までと異なる動き
 - ② 財政運営上の圧迫要因が顕在化
 - ③ 千葉ニュータウン事業が完了し、開発から既存ストックの活用へ
 - ④ 新たな法律の制定、市の計画策定など、各分野で様々な動き
→ 印西市子ども・子育て支援事業計画策定ほか
- ◆ 市民満足度・重要度調査の結果から課題を抽出し、重点施策に反映

重点施策1 「新しい成長」の視点

ニュータウン事業が完了したことを受け、今後はこれまで作りあげてきた高い生活利便性や豊かな自然環境など、本市の特徴を踏まえた成長に向けた取り組みを展開していくことをめざす。

[重点施策]

- ・ かけがえのない自然環境の保全と活用
- ・ 犯罪や事故から市民を守る、安全・安心社会の構築
- ・ ライフスタイルに合わせた多様な子育て支援策
- ・ 立地の優位性を活かした企業誘致・雇用確保の促進
- ・ 生産基盤の整備や担い手の確保による持続的な農業の実現

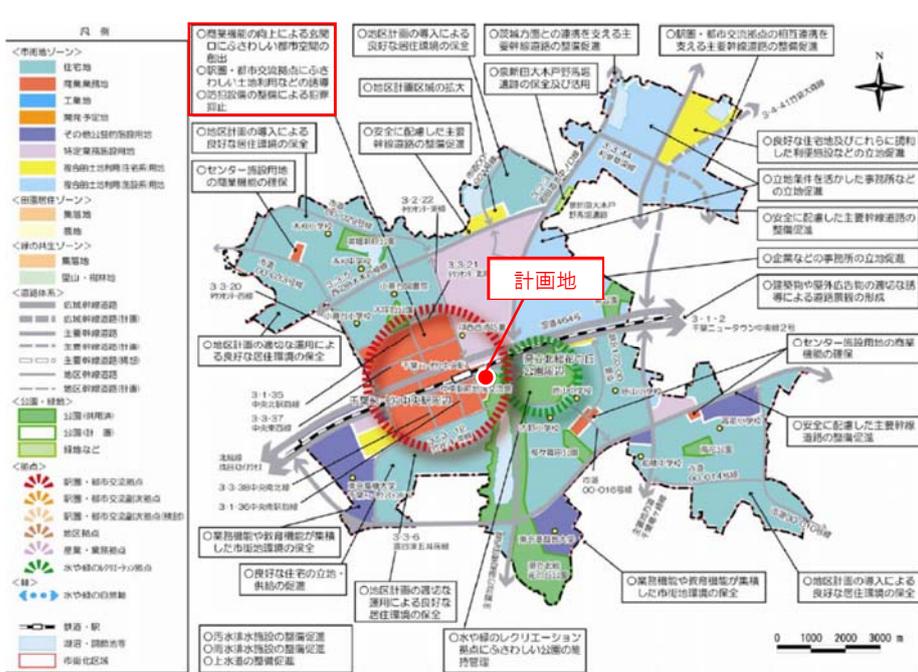
重点施策2 将来につなぐ「持続可能」の視点

恵まれた自然環境、高い生活利便性などの優れた点をこれからも保ち続けていくために、高齢化の進展や施設の維持管理費の増加等の課題に対して対策を講じ、暮らしやすいまちとして、後の世代につないでいくことをめざす。

計画名(策定(改訂)年月)	概要・本事業及び計画地に係る事項等
	<p>[重点施策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かけがえのない自然環境の保全と活用 ・ 多様化する災害に対応する、自助共助も含めた防災対策の強化 ・ <u>高齢者の生きがいつくりと社会参加の促進</u> ・ 障がいのある人へのきめ細かな生活支援と社会参加の促進 ・ <u>生涯いきいきと健やかに暮らすための健康づくりの推進</u> ・ 市民の健康を支える医療体制の整備・充実 ・ 生産基盤の整備や担い手の確保による持続的な農業の実現 ・ <u>学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進</u> ・ 文化財の保護・活用 ・ 景観に配慮した美しいまちづくり ・ 人にやさしく豊かな住まいづくり ・ <u>持続可能な行財政運営の実現</u> <p>重点施策 3 地域のイメージを転換する「ブランド向上」の視点</p> <p>シティセールスにおいて優位に立てるよう、マイナス面のイメージを払拭するとともに、プラス面の取り組みをより積極的に推進・PR することで、地域のイメージを転換させ、魅力あるまちづくりにつなげていく。</p> <p>[重点施策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かけがえのない自然環境の保全と活用 ・ 印西の魅力発信の体制強化 ・ グローバル化に対応した多文化共生社会づくりの推進 ・ 地域の活性化と交通弱者の増加を見据えた地域公共交通の向上 ・ 市政情報の共有化と市民参加によるまちづくり
<p>印西市まち・ひと・しごと 創生総合戦略 [平成 27～31 年度] (平成 28 年 3 月策定)</p>	<p>将来展望:2060 年時点で 8 万人程度の人口実現を目標とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口は市全体、千葉ニュータウンともに増加傾向が続いているが、近い将来減少に転じ、急速に高齢化が進むことが予想される。また、千葉ニュータウン以外の地域での人口減少が懸念される。 →所得や消費の減少、各種サービスや労働量の減少 ・ 女性の労働力率において、依然 M 字カーブ(結婚・出産・子育て期に低下)がみられることから、子育てと仕事の両立できる環境づくりが課題 ・ 市の保有する施設やインフラ設備等の維持更新が困難になるが、効率的な集約・活用等により負担を軽減できる可能性がある。 <p>◆ 総合戦略における基本的な視点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① <u>安定した雇用を創出する</u> ② <u>新しいひとの流れをつくる</u> ③ <u>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</u> ④ <u>時代に合った地域をつくり、安心できる暮らしを守る</u> <p>◆ 基本的方向(具体的な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 既存産業の維持発展、農業活性化、企業誘致、創業・就労支援 ② シティセールス、市民の成長に沿った定住促進 ③ 安心して結婚出産できる環境づくり(経済的負担軽減、WLB 等)、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ④ インフラ維持管理、生活環境づくり(防災・防犯、健康寿命延伸等)

3-2. 都市計画・まちづくり関連

表-3.3 上位関連計画（都市計画・まちづくり関連）の整理

計画名(策定(改訂)年月)	概要・本事業及び計画地に係る事項等
<p>印西市都市マスタープラン改訂版 (平成 25 年 3 月策定)</p>	<p>都市づくりの基本理念： 「継承」と「創生」の融合 ～私たちのふるさととなる都市づくりに向けて～</p> <p>千葉ニュータウン中央地区の地域別構想： 多様な機能と暮らしが調和した、幾世代にわたって住み続けることのできるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉ニュータウン全体の中核として、多様な機能を有する地区となっている。 暮らしに必要となる様々な機能や環境が計画的に整備された都市空間を保全し、<u>居住者の地域への定着を促すこと</u>によって、都市としての成熟化を目指す。 新住宅市街地開発事業によって整備された都市施設や、東京都心部方面や成田国際空港への交通利便性を活かし、<u>さらなる市の発展をリードする北総地域の玄関口</u>にふさわしい都市機能を兼ね備えたまちの形成を目指す。  <p>図-3.3 千葉ニュータウン中央地区の構想図</p> <p>計画地の位置付け・・・駅圏・都市交流拠点(図-3.3 赤丸範囲)</p> <p>商業業務地(図-3.3 赤枠内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 商業機能の向上による玄関口にふさわしい都市空間の創出 駅圏・都市交流拠点にふさわしい土地利用などの誘導 防犯設備の整備による犯罪抑止

計画名(策定(改訂)年月)	概要・本事業及び計画地に係る事項等
---------------	-------------------

印西都市計画地区計画
 タウンセンター地区
 地区計画
 (平成30年10月条例変更)

- ◆ 千葉ニュータウン中央駅圏の中心的地区として、にぎわいや国際色のある多様性の高い市街地の形成を目指し、建築物等に対して具体的に土地利用等の誘導、規制を図っている。

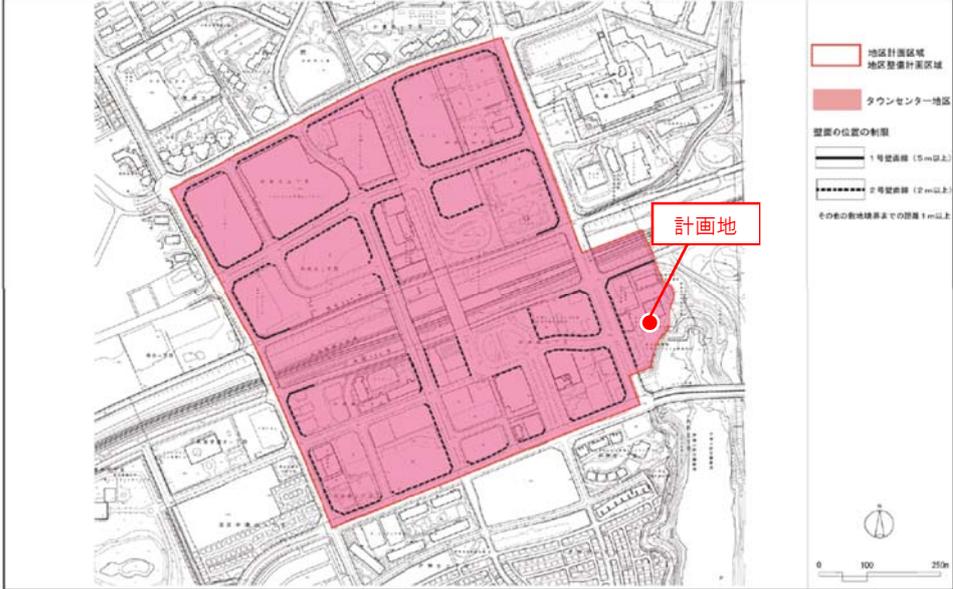


図-3.4 タウンセンター地区の範囲

印西市景観計画
 (平成30年3月策定)

景観形成の基本目標：

みんなでつくる「自然」と「都市」がふれあう美しいまち いんざい
 ～水・里山・歴史につつまれ 美しくすみ続けたいまちへ～

- ◆ 千葉ニュータウン中央地区では、計画的に整備された都市空間を保全し、市の発展をリードする北総地域の玄関口にふさわしい都市景観の形成など、各景観ゾーン、景観軸、景観拠点の方針に配慮した景観の形成を目指すものとしている。



図-3.5 千葉ニュータウン中央地区の位置図

3-3. 公共施設関連

表-3.4 上位関連計画（公共施設関連）の整理

計画名(策定(改訂)年月)	概要・本事業及び計画地に係る事項等
<p>印西市公共施設等総合管理計画 (平成 29 年 3 月策定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多くの公共施設やインフラ資産で更新(改修・建替え)が必要となりつつあり、将来的に財源を確保することが難しいことが想定されるため、<u>適切な規模を検討し負担軽減を図る。</u> ◆ 公共施設保有量(延床面積)を今後 34 年間で 34%減らす必要がある。 ◆ 施設再編や空きスペース活用、民間技術の活用等に取り組み、<u>市民ニーズに適切に対応した整備とサービスの維持等</u>が求められている。 ◆ <u>新規で施設を整備する場合は、施設の統廃合を行い、市全体の施設総量(総延床面積)が増加しないように</u>している。 ◆ 統廃合をする際には、<u>公共交通機関の充実や駐車場の確保</u>が求められている。 ◆ 推進体制と進行管理として、全庁的な取組体制を構築し、一元化されたデータでの情報共有、<u>組織の枠を超えた再編・再配置に向けた検討</u>をするものとしている。
<p>印西市公共施設適正配置実施方針 (平成 31 年 2 月策定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 印西市公共施設等総合管理計画に基づき、今ある公共施設の集約化や複合化等の方向性を示す方針 ◆ <u>より効果的・効率的に市民サービスを提供することを目的に、指定管理者制度等の民間事業者等による市民サービスの提供を図ること</u>としている。 ◆ 建物の更新等の際は、市民サービスについて、<u>将来人口や今後の市民ニーズ等を踏まえることにより、建物の適正な規模を検討すること</u>としている。 ◆ 中央駅前地域交流館については、市民サービスの向上と運営の効率化のため、<u>指定管理者制度の導入を検討すること</u>としている。

3-4. 福祉関連

表-3.5 上位関連計画（福祉関連）の整理

計画名(策定(改訂)年月)	概要・本事業及び計画地に係る事項等
<p>第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 [2018年度～2020年度] (平成30年3月策定)</p>	<p>基本理念:いきいきあんしん生涯現役のまち印西</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域包括ケアシステムの充実、高齢者や家族が活躍できるまちづくり、介護サービスの充実の3つを基本目標としている。</u> ・ <u>特に介護予防の充実、認知症施策の充実、生きがいつくりと社会参加の推進の3つを重点施策として掲げ、地域支援事業の充実を図ることとしている。</u>
<p>印西市子ども・子育て支援事業計画 [平成27～31年度] (平成27年3月策定)</p>	<p>理念(総合計画より):安心して子育てができる環境づくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉ニュータウン中央駅圏を含む区域は特に人口(子ども)増加が見込まれるため、認可保育園新設等、<u>受け皿の強化を図ることとしている。</u> ・ 「地域子ども・子育て支援事業」としては、13の事業が位置付けられている。 →共働きを意向する家庭が増えており、<u>子どもの一時預かりや延長保育、学童等の需要は今後も高いことが見込まれる。</u> →<u>多様な主体(民間事業者)の特定教育・保育施設等への参入の促進に関し、調査研究を進めるものとしている。</u> ・ 児童虐待防止、ひとり親家庭支援、障害や発達への対応について、<u>関係機関と連携を図ることとしている。</u> ・ <u>子育てと仕事の両立支援、地域型保育事業等の整備促進について示している。</u>
<p>第3次印西市地域福祉計画 [平成29～32年度] (平成29年3月策定)</p>	<p>理念:声をかけあい つながりあい 思いやり 支え合う 印西市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域での支え合い意識を育み、地域活動に参加しやすい仕組みづくりや、分かり易く安心して利用できる相談窓口・福祉サービスの基盤づくり、環境整備等を施策として展開</u> ・ 市民が取り組むこと、地域や組織で取り組むこと、市が取り組むことについて具体的に示している。
<p>印西市健康増進・食育推進計画 [2019年度～2023年度] (平成31年3月策定)</p>	<p>基本理念:めざす健康 大切に作る食 みんないきいき すこやか笑顔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均寿命が高くなる一方、<u>高齢期をむかえても住み慣れた地域で健康で安心に暮らせる社会づくりが求められており、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に焦点を当てた施策を進めている。</u> ・ 健康増進計画(運動、喫煙予防、適正飲酒、口腔衛生等)と食育推進計画(健康的な食生活、食品知識等)がある。 ・ 食の心と体を育む力を取り入れながら、市民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」ことを実践・継続できるようにする。

3-5. 教育・文化芸術関連

表-3.6 上位関連計画（教育・文化芸術関連）の整理

計画名(策定(改訂)年月)	概要・本事業及び計画地に係る事項等
<p>印西市教育振興基本計画 [2018～2021 年度版] (平成 29 年 12 月策定)</p>	<p>基本理念: だれもが輝き ともにばたくいんざいの学び</p> <p>基本目標Ⅱ「生涯を通して学び、スポーツに楽しめる環境づくりを推進する」 →<u>公民館及び中央駅前地域交流館の年間利用者を増やす</u>ことも目標の 1 つとなる。</p> <p>基本目標Ⅲ「心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る」 →<u>文化芸術に触れる機会の拡大、市民の自主的な活動の支援、子どもをはじめとする次世代の育成等</u></p> <p>リーディング施策(分野横断的に連携する施策)</p> <p>①循環型生涯学習のための基盤づくり →<u>生涯学習や文化芸術等を人づくり・地域づくりに活かす仕組みの構築等</u></p> <p>②「知・徳・体の総合型教育」推進 →<u>ライフステージに合わせた学びの構築、学校教育との連携等</u></p> <p>【市民意向調査/アンケート考察より】</p> <p>◆ 家庭・地域の教育力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>多くの家庭で、とくに幼児期において「子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす」</u>ことを市に期待している。 <p>◆ 生涯学習の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習について「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と答えた人が多く、認知度が十分といえないため、<u>気軽にできる意識付け</u>に取り組むこととしている。 <p>◆ 文化芸術活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>子どもの時の文化芸術体験の重要性について、「重要」との回答が 8 割を占める。</u> ・ 1 年間にホール、映画館、美術館・博物館に出向き体験した市民の割合は全国平均より上回るが、自ら文化芸術活動をした市民の割合は全国平均より下回る。<u>自ら活動する機運を高める取り組み</u>が期待される。 ・ 市民の文化的環境の満足度は 11%(全国平均 52%)と非常に低い。しかし、逆に不満度は 29%(全国平均 35%)と低く、判断の前段階として「わからない」が 56%(国 12.6%)もいるため、関心を高める必要がある。 ・ <u>市民の文化施設の年間訪問率は 20%にも満たず、これを引き上げることが当面の目標のひとつ</u>としている。 ・ 文化芸術の振興として、市民は「<u>文化施設の整備・充実</u>」以上に、<u>子どもたちの文化芸術体験の充実</u>」「<u>音楽祭、演劇祭、映画祭など、文化的行事の開催</u>」といった事業を望んでおり、文化芸術を通じて<u>地域づくり、人づくりにつなげる取り組み</u>が期待されている。

4. 施設コンセプト（案）

4-1. 背景のまとめ

上述の整理を踏まえ、当該施設に関係する背景をまとめた。

➤ 高齢化率の増加と人口の増加

- ・市の生産年齢人口の減少、高齢化率の増加が見られる（2010年：16.1%→2015年：20.4%）。
- ・市の人口は、2035年まで増加傾向にあると推計される。

➤ 印西市内最大の人口が暮らす中央駅地区

- ・中央駅地区は地区別人口が最も多い地区である（2017年時点：2位の牧の原地区と2.5倍の差）。
- ・千葉ニュータウン中央地区は、千葉ニュータウンの中核として、多様な機能を有する地区であり、上位関連計画において、さらなる市の発展をリードする北総地域の玄関口にふさわしい都市機能を兼ね備えたまちの形成を目指すこととしている。

➤ 福祉関連施策の強化

- ・市民満足度・重要度調査において、「健康増進・医療体制の強化」、「高齢者福祉の充実」「児童福祉・子育て支援体制の充実」等の福祉関連の項目は、施策の評価が低く、これから力を入れてほしいという要望が多い。
- ・上位関連計画において、高齢者がいきいき暮らせる環境づくり、安心して子育てができる環境づくりを推進し、地域への定住を促して幾世代にもわたって住み続けられるまちにしていくこととしている。

➤ 文化・芸術の振興

- ・教育振興基本計画の市民意向調査において、子どもの時の文化芸術体験を「重要」と考える市民が多い。また、子どもたちの文化芸術体験や、文化的行事の開催といった施策への関心が高い。
- ・市民アンケートにおいて、「千葉ニュータウン中央地区に必要な施設・サービス」に「文化芸術関連施設」と回答した市民が多い。

➤ 市民の多様なニーズ

- ・市民アンケートにおいて、計画地を「人々の暮らしを便利にし、豊かにする場所」とするのが望ましい、と回答した市民が多い。
- ・市民アンケートにおいて、計画地に一緒に整備してほしい施設やサービスに、「医療モール」「飲食施設」と回答した市民が多い。

➤ 持続的な市民サービスの提供

- ・将来想定される人口減少、税金収入減少等を踏まえ、施設の再編や空きスペースの活用、民間技術の活用等に取り組むなど、市民サービスを持続させるための知恵や工夫が求められる。

4-2. 当該施設が解決すべき課題

上述から、当該施設が解決すべき課題は以下と考えられる。

●高齢者福祉の強化

高齢者の増加に伴い、福祉サービスの需要は今後も増え続けると予想される。また、生活支援だけでなく、健康状態をできる限り維持して、いきいき暮らしていくための介護予防や生きがいづくりの取組など、多様なニーズが存在する。市民の高齢者福祉の施策に対する期待度は非常に高く、今後、地域包括ケアシステムの深化・推進のため、包括的な支援の強化を図り、これらに対応できる環境をつくることが課題である。

●地域子育て支援の充実

少子化や核家族が進む中、子育て家庭の孤立化を防ぎ、子どもを安心して育てていくためには、子育て家庭が身近な地域で支援を受けられる体制づくりや地域コミュニティにおいてサポートしていく仕組みづくりが必要と考えられる。また、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない包括的な支援が求められており、関係機関と連携し、多角的に対応できる環境を作ることが重要である。

●文化芸術体験の機会の創出

教育振興基本計画の市民意向調査から、特に子どもたちにとって文化芸術体験が重要と考える市民が多いことがわかるが、市内の文化施設の利用率は低く、生涯学習への認知度の低さ等も見受けられる。文化芸術の持つ力を地域づくり、人づくりに繋げていく取り組みが期待されており、年齢・世代等に関わらず、誰もが機会を得て参加・体験できる環境づくりが課題である。

●市民ニーズに対応したサービスの提供

市民アンケートにおいて、計画地を「人々の暮らしを便利にし、豊かにする場所」にしたいとの回答が多いこと、医療モールや飲食施設等の要望があることから、公共サービスだけではなくサービスや付加機能を導入した利便性の高い施設が求められている。市民ニーズに的確に応え、利用者を増やし市民サービスを持続させていくことが課題であり、そのためには民間事業者と連携する等、新たな取組が必要になると考えられる。

4-3. 施設コンセプト（案）

以上を踏まえ、当該施設のコンセプトと基本方針を以下のとおり設定した。

印西市/中央駅地区/計画地周辺の特性	上位関連計画等における方針
<ul style="list-style-type: none">・ 市の生産年齢人口の減少、高齢化率の増加・ 市の人口は、2035年までは増加傾向にあり、その後減少に転じる・ 中央駅地区は、市内の地区別人口が最も多い・ 計画地は、公共交通も近く便利な立地であり、中央駅前地域交流館、北総花の丘公園が隣接している	<ul style="list-style-type: none">・ 中央駅圏におけるニュータウンの中核機能としての役割、生活利便性等の特徴を活かした取組、「新しい成長」の視点・ 将来の人口減少に伴う税収・労働力減少を踏まえた取組、「持続可能」の視点（幾世代にわたって住み続けられるまち）・ 高齢者がいきいき暮らせる環境づくり・ 安心して子育てができる環境づくり・ 誰もが生涯学習や文化芸術等に親しむことができる環境づくり

市民の意向	計画地における市民アンケート結果
<ul style="list-style-type: none">・ 「健康増進・医療体制の強化」「高齢者福祉の充実」「児童福祉・子育て支援体制の充実」施策への取り組み強化の要望が多い・ 子どもたちの「文化芸術体験」「文化的行事開催」への関心が高い	<ul style="list-style-type: none">・ 計画地を「人々の暮らしを便利にし、豊かにする場所」にしたいとの意見が多い・ 一緒に整備したい機能として、特に医療サービス、飲食サービスの要望が多い



住みよいまちの豊かな暮らしを育む複合拠点

「健康・福祉」「子育て」「文化・芸術」がつなぐ多世代にわたる交流の場

[基本方針]

- 複合施設としての相乗効果により公共サービスの質を向上させ、さまざまなニーズに効率的に応える、市民生活の拠点を整備します。
- 赤ちゃんから高齢者まで多様な市民が集い、誰もが気軽に安心して利用できる場所にします。
- 駅前という好立地を活かし、「来たついでに」「これも一緒に」が叶えられる付加機能・サービスを導入・提供し、利便性の向上を図ります。
- 整備手法として民間活力の導入を検討し、サービスの質向上とコスト削減を図ります。
- 北総地域の玄関口として相応しい魅力的な場所として、市民に長く利用され続ける施設を目指します。